

特別支援学級前期課程



学びの 카테고리「遊び・生活づくり」(I部)

自分一人で願いをもって遊ぶところから、学級、学年へと、遊ぶ仲間が広がる。遊ぶ仲間が広がることで、一緒に取り組むよさを感じる。遊ぶ過程において、仲間と仲良く遊ぶためにどうするとよいか、よい姿をまねして、願いを実現していく。

また、畑で美味しい野菜を育てようとする。畑の手入れは大変ではあるが、美味しい野菜が収穫することで、仲間と力を合わせることで、一生懸命取り組むよさを実感する。

石田 華映
松井 さやか
小寺 真実子

第1・2学年4組 年間指導計画 「学びの 카테고리」：遊び・生活づくり (全70時間)

特別支援学級 第1・2学年の目標	(1) 問題解決力に関わって 自分の願いをもって、遊び方や遊ぶものを考え、思う存分遊びに取り組み、楽しむことができるようにする。												
	(2) 関係構築力に関わって 仲間や教師と一緒に遊び、仲間と関わることのよさを感じたり、仲間や教師と親しみ、関わりを深めたりすることができるようにする。												
	(3) 貢献する人間性に関わって 交流学級や特別支援学級の仲間を遊びに招待し、遊びを進めながら一緒に楽しもうとする態度を養う。												
カテゴリー設定の理由	自分一人で願いをもって遊ぶところから、学級、学年へと、遊ぶ仲間が広がる。遊ぶ仲間が広がることで、一緒に取り組むよさを感じる。遊ぶ過程において、仲間と仲良く遊ぶためにどうするとよいか、よい姿をまねして、願いを実現していく。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	○よりよい学校生活 ・善悪の判断 ・節度、節制 ・規則の尊重 ・友情、信頼 ・公共の精神 ・親切、思いやり												
学びを構成する要素	人（自分、仲間、先生） もの きまり 楽しさ できた喜び 達成感 心地よさ 仲間の広がり 仲間喜んでもらった喜び 自分の成長												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名 (時数)	「身近ななかまや先生と遊ぼう」(24時間)					「なかまといっしょに遊ぼう」(30時間)				「なかまをしょうたいして遊ぼう」(16時間)			
主な学習活動	<p>「紙コップで遊ぼう」 「土遊びをしよう」 「遊戯室で遊ぼう④」</p> <p>○遊ぶことに没頭し、精一杯遊ぶ。 ○身近な仲間や先生と遊ぶことの楽しさに気付く。 ○遊びに必要なものを自分たちで作る。</p>					<p>「○○遊びをしよう」 「遊戯室で遊ぼう②」 「さそって遊ぼう」</p> <p>○どんな遊びをしたか願いをもつ。 ○願いに沿って、思う存分遊びに取り組む。 ○身近な仲間や先生と遊ぶことのよさに気付く。</p>				<p>「遊びを考えよう」 「遊び場を作ろう」 「しょうたいしよう」 「遊びをふり返ろう」</p> <p>○これまでの遊びを振り返る。 ○誰を招待したいか、何をして遊びたいかを決める。 ○遊びの場を仲間と協力して作る。 ○招待する仲間と一緒に遊ぶ。 ○1年間の遊びを振り返る。</p>			
想定されるエラー(■) ジレンマ(●) 【道徳的諸価値】	<p>■うまくできない ●もっと遊びたいけれど、終わりの時間だけどうしようかな。 ●仲間と一緒に遊びたいけど、どうやって声をかけたらいいのか。 ●仲間と使いたい道具が重なってしまう。こういうときは、どうしたらよいか。 【よりよい学校生活・善悪の判断・節度、節制・規則の尊重など】</p>					<p>●一人ではできなくて、どうしたらよいか分からない。 ●自分のしたいことと、仲間のしたいことが違う。 ●仲間と一緒にあそびたいけど、どうやって誘えばよいか分からない。 【よりよい学校生活・善悪の判断・節度、節制・友情、信頼・規則の尊重・公共の精神など】</p>				<p>●みんなで決めた遊ぶ計画と自分のやりたい遊びと違う。 ●楽しく遊びたいけれど、自分のしたいことと仲間のしたいことが違う。 ■招待した仲間と遊びたいけれど、どうやって関わればよいか分からない。 【よりよい学校生活・節度、節制・感謝・友情、信頼・親切・思いやりなど】</p>			
人材活用 施設	<p>・先生 ・学級の仲間 ・上級生の仲間 ・身近な場所(教室、遊戯室、畑など)</p>					<p>・先生 ・学級の仲間 ・4組の仲間 ・身近な場所(教室、遊戯室、運動場など)</p>				<p>・先生 ・学級の仲間 ・4組の仲間 ・同学年の仲間 ・家族 ・身近な場所(教室、遊戯室、運動場、畑など)</p>			
教科等との関連	<p>・図画工作：紙コップとなかよし クレヨンとなかよし</p>					<p>・図画工作：しんぶんしとなかよし ダンボールで作ろう・遊ぼう ・算数：数えよう いろいろな形</p>				<p>・国語：てがみでしらせよう ともだちのことをしらせよう</p>			

単元名	本単元の目標		
	問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
なかまといっしょに遊ぼう (30)	自分の願いをもって思う存分遊びに取り組み、楽しむことができるようにする。	仲間を意識したり、仲間と関わったりしながら遊ぶことで、仲間や教師と一緒に取り組むことのよさを感じることができるようにする。	仲間を誘い、遊びを進めながら誘った仲間と一緒に楽しもうとする態度を養う。

活動の計画	<p>「〇〇遊びをしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊びと遊び方を知る。 ・願いをもって、思う存分遊ぶ。 ・遊んだ様子を振り返り、次への願いをもつ。 <p>(8)</p>	<p>「遊戯室で遊ぼう②」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・願いをもって、思う存分遊ぶ。 ・仲間の遊ぶ様子を見たり、仲間の遊び方をまねしたりして遊ぶ。 ・仲間や教師と声をかけ合ったり、協力したりしながら一緒に遊ぶ。 ・遊びの様子を振り返り、次への願いをもつ。 <p>(16)</p>	<p>「さそって遊ぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの遊びを振り返る。 ・誰と遊びたいかを決め、誘う。 ・誘った仲間と一緒に遊ぶ。 ・遊んだ様子を振り返る。 <p>(6)</p>
加筆修正欄			
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって楽しいと感じる遊びとそうでない遊びがあることに気付く。 ・用具の使い方や体の使い方などの遊び方が分かる。 ・思う存分遊ぶ楽しさを感じ、もっと遊びたいと願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたい遊びに没頭する。 ・仲間の様子を見たり、仲間の遊びをまねしたりして、仲間を意識しながら楽しく遊ぶ。 ・仲間を誘う、仲間と協力する、仲間と一緒に遊ぶ。 ・仲間と一緒にいることの心地よさ、仲間や教師と一緒に遊ぶことの楽しさを感じる。 ・もっと、いろいろな仲間と遊びたいと願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい遊戯室での遊びを他の仲間とも一緒にやりたいと願う。 ・4組の仲間を遊びに誘う。 ・いろいろな仲間と遊ぶことができうれしと感じる。
実際の姿			

エラー・ジレンマ	<p>●仲間と一緒に遊びたいけれど、どうやって誘えばよいか分からず葛藤する。</p> <p>●一人ではできなくて、どうしたらよいか分からず葛藤する。</p> <p>●楽しく遊びたいけれど、自分のしたいことと、仲間のしたいことがちがうことに葛藤する。</p>
----------	--

(1) 目標

遊戯室で遊ぶことを基に、仲間や教師と一緒に遊んだり、仲間に声をかけたりすることを通して、仲間や教師と関わることのよさを感じることができる。(関係構築力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

前時までの活動で、仲間とやりたい遊びの用具の取り合いをしたり、仲間と一緒に遊びたいけれど、どうしたらよいか分からなかったりして困った経験をしている。そこで、仲間と一緒に活動することのよさや楽しさを実感できるように、仲間への声のかけ方や関わり方を考えながら、思う存分遊ぶ活動をする。 本時 (18/30)

活動内容 (○教師の発問 ・予想される児童の発言)	教師の手立てと見届け
<p>1 前時の様子を振り返り、本時の見通しをもつ。(教室)</p> <p>○前回の様子を振り返ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくが～をして遊んでいる間、他の子は…をしていたんだ。 ・○○くんと一緒に遊ぶことができて楽しかった。 ・今日もみんなで楽しく遊びたい。 <p>○(けんかした場面や声のかけ方が分からず困った場面を取り上げ) こんなこともあったけど、どうすればみんなで楽しく遊べるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一緒にやろう」と言えばいいんじゃないかな。 ・「ぼくもやりたいから、次やらせて。」と願う。 ・(やらせてと言われたら)「いいよ。」とか「あとでね。」と言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>みんなとなかよしジャングルで遊ぼう。</p> </div> <p>2 遊戯室に移動し、仲間や教師と一緒に遊ぶ。(遊戯室)</p> <p>○今日もなかよしジャングルで遊ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、まず～をして遊ぼう。 ・「一緒に～しよう。」「いいよ。」 <p>○雨が降ってきた！みんな！こっちで雨宿りしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わ～！雨が降ってきた～！ ・みんなこっち、こっち！ ・雨がやむまで待とう。 <p>○あ、動物さんたちが遊びにきたよ。一緒に踊ろう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな、楽しそうに踊っているな。 ・ぼくも一緒に踊ろう。 <p>○うさぎさんやかえるさんと一緒にジャンプしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1、2、3、4・・・」 ・すごい、高くジャンプできたね。 <p>○ジャングルでかくれんぼしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんな隠れて。」「ぼくは隠れるよ。」 ・「もういいかい。」「もういいよ。」 <p>3 画像を見ながら、本時の様子を振り返る。(教室)</p> <p>○今日の様子を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、Aくんがやっていた～をして遊んだよ。 ・ぼくは、Bくんを誘って、一緒に～をして遊んだよ。 ・今日もみんなと楽しく遊ぶことができた。 ・また、みんなで遊びたい。 	<p>○本時の活動への願いを確認するために、前時の活動で感じたことを想起しながら、本時の願いを話す場を位置付ける。</p> <p>○前時まで、けんかした場面やどうしてよいか分からず困った場面を取り上げ、どうしたらよいか分かるように、仲間とうまく関わっているときにかけていた言葉や行動の仕方を板書に位置付ける。</p> <p>○仲間と関わることのよさを感じることができるように、みんなで一緒に取り組む活動を位置付け、誘う声をかけて参加を促す。</p> <p>○仲間の様子を見たり、まねをしたりして遊ぶ姿、仲間と関わって遊ぶ姿をその場で価値付ける。</p> <p>○活動の最中に、互いの感じていることを知ることができるように、児童の楽しんでいる表情や夢中になっている姿を捉え、「一緒に～をすると楽しいね」「Cくんは、～で遊ぶことが好きなんだね。」などと、児童の気持ちを教師が伝える。</p> <p>○本時の活動において、仲間を意識して遊ぶ姿、仲間と同じ遊びをする姿、仲間を誘ったり、仲間の声かけに応じたりする姿など、仲間の関わりながら楽しく遊ぶ姿を価値付け、仲間と関わることのよさを実感できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>仲間や教師と関わることのよさを感じている。(関係構築力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で、仲間の声かけに応じながら一緒に遊んだり、仲間を誘って一緒に遊んだりする姿を見届ける。 </div>